



婚礼の調度

- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 平成16年9月7日(火)～11月7日(日)



わたしかねばこ
牡丹唐草九曜紋蒔絵渡金箱
お歯黒の道具が収められています



菊花流水蒔絵書箱・源氏物語
源氏物語を収める箱です

江戸時代、大名家同士が婚礼関係を結ぶ際、多いときには数百件もの嫁入り道具を整えました。それらの道具類は同じ意匠やきらびやかな装飾に、家紋を施した揃えで製作されており、大名道具の中でも特に婚礼調度と呼ばれています。それらは大名家の女性の暮らしに必要な生活用品や家具を揃えたもので、香道具や化粧道具など、女性ならではの道具や今では見られないものも含まれています。現存する婚礼調度は当時の婚礼や女性の生活について知ることができる貴重な資料だといえるでしょう。

今回の展示では、勇姫の婚礼調度をはじめとして関連の大名道具も併せ、越前松平家に伝来する婚礼調度についてご紹介します。

越前松平家ゆかりの女性達の生活がしのばれる華麗な大名道具の数々。

勇姫の婚礼調度

勇姫 天保5年(1834)、熊本藩主細川斉護の娘として生まれ、嘉永2年(1849)に15歳で越前福井藩16代藩主松平春嶽の正室になりました。明治20年(1887)に亡くなるまでの間、様々な夫婦愛の逸話が残り、夫を助け思いやの人柄が伝わっています。



勇姫肖像写真

勇姫婚礼日程

日	付	儀式	内容
嘉永2(1849)	11月3日	御結納御取かわし	婿から嫁の実家へ品物を贈る 婚礼調度を嫁入り先に送る
	11月4日	御道具送り	
	11月5日		
	11月9日	御引移	婿宅への引越し
		御入輿	嫁が輿に乗って婿宅へ入る
		御婚礼	婚礼儀式
	11月11日	皆子餅御取かわし	580個の餅をつき、嫁の実家に贈る
嘉永3(1850)年	2月6日	御駕入	婿が嫁の実家へ挨拶に行く
		御里披	嫁が実家を訪ねる
	2月9日	御舅入	舅が娘夫婦の家を訪ねる

※ 慶永公御室勇姫君御婚礼式次第書(写本) (越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管)による。

勇姫の実家熊本藩細川家の家紋は九曜紋です。ここに展示されている調度は越前松平家に伝来しているものですが、九曜紋が施されているため、勇姫の婚礼調度であることが分かります。道具には唐草文様が蒔絵されたものと、漆塗りに九曜紋が施されたものがありますが、婚礼調度は同じような道具がいくつかの装飾で揃えられました。例えば豪華な蒔絵、唐草模様の蒔絵、家紋のみのものなどがあり、恐らく部屋や用途によって使い分けたのではないかと考えられます。実際に、勇姫の化粧道具や重箱には使用した形跡が見られるものがあります。



牡丹唐草九曜紋蒔絵黒道具



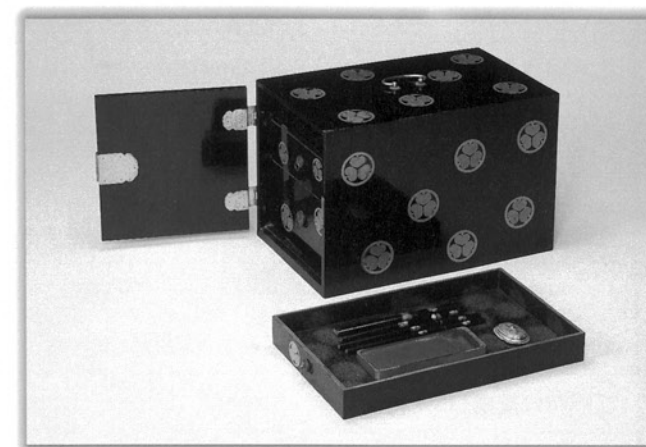
九曜紋散蒔絵旅櫛箱

越前松平家に伝わる婚礼調度

このコーナーに並ぶ道具は、持ち主がはっきりしないものの婚礼調度と考えられるものです。葵紋が入っていても誰のものか分からない理由は、婚礼調度には実家と嫁ぎ先の両方の紋を入れたため、松平家の女性か、他大名の女性のものかが分からないからです。しかしながら、花の装飾に唐草模様という意匠が江戸時代後期の婚礼調度に一般的だったため、これらの道具類も、越前松平家ゆかりの女性達の婚礼にまつわる道具だったと考えられます。



牡丹唐草葵紋蒔絵香道具



葵紋散蒔絵掛硯箱

大名道具の色々

大名家の娘の婚礼調度は、多いときには数百件もつくられ、勇姫の婚礼の調度も元々は数百点あったことが記録から分かっています。しかし残念ながら全てが揃って現存しているものではありません。どのような調度が整えられたのかについては、道具について書かれた記録から推測することとなります。

ここでは婚礼の調度としてつくられたものではないものの、一般的に婚礼の調度にも含まれていたとされる道具類を、越前松平家に伝来する大名道具の中から展示します。婚礼調度には生活に必要な様々な道具が整えられていたことがわかります。

越前福井藩主正室一覧

代	藩主	夫人	婚礼年	備考
1代	結城秀康	鶴姫	天正18年(1590)	結城晴朝女
2代	松平忠直	勝姫	慶長16年(1611)	徳川秀忠(2代将軍)女
3代	松平忠昌	花姫	元和5年(1619)、元和9年逝	浅野幸長(和歌山藩主)女
		道姫(継室)	不詳	広橋賢公女
4代	松平光通	国姫	明暦元年(1655)	松平光長(高田藩主)女
5代	松平昌親	万姫	寛文2年(1662)	森長継(津山藩主)女
7代	松平吉品			5代藩主昌親は吉品と改名し7代藩主となる
6代	松平綱昌	清姫	延宝6年(1678)	飛鳥井雅直女
8代	松平吉邦	梅姫	宝永5年(1708)	日野西国豊(梅姫は吉品養女)女
9代	松平宗昌	菊姫	元禄10年(1697)	松平頼元(小倉藩主)女
10代	松平宗矩	勝姫	享保18年(1733)	松平吉邦女
11代	松平重昌	品姫	寛延3年(1750) 婚約(重昌逝により未婚)	徳川宗勝(尾張徳川家)女
12代	松平重富	致姫	宝暦13年(1763)	徳川宗将(紀伊徳川家)女
13代	松平治好	定姫	天明7年(1787)	徳川宗武(田安徳川家)女
14代	松平齐承	浅姫	文政2年(1819)	徳川家斉(11代将軍)女
15代	松平齐善	昌宮	天保9年(1838) 請婚(齐善逝により未許)	愛仁親王妹
16代	松平慶永	勇姫	嘉永2年(1849)	細川斉護(熊本藩主)女
17代	松平茂昭	賀代	文久2年(1862) 未婚約、慶応元年逝	松平齐裕(徳島藩主)女
		幸(継室)	明治元年(1868)	久我建通女

展示品目録

	資 料 名	員数	年 代	備 考
	〈勇姫の婚礼調度〉			
1	家譜(慶永公 嘉永二年 百八十九)	1冊	江戸時代後期	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
2	菊花流水蒔絵書箱・源氏物語	1合	江戸時代中期(18～19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
3	牡丹唐草九曜紋蒔絵渡金箱	1合	江戸時代後期(19世紀)	松平宗紀氏蔵
4	九曜紋蒔絵旅櫛箱	1合	江戸時代後期(19世紀)	松平宗紀氏蔵
5	九曜紋散蒔絵重箱	1合	江戸時代後期(19世紀)	松平宗紀氏蔵
6	牡丹唐草九曜文様文台	1基	江戸時代後期(19世紀)	松平宗紀氏蔵
7	扇蝶蒔絵料紙箱・硯箱	1具	江戸時代後期(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
8	牡丹唐草模様九曜紋蒔絵長刀拵(部分)	1点	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
9	九曜紋散蒔絵刀掛	1基	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
10	牡丹唐草九曜紋蒔絵茶碗及葵紋散蒔絵茶碗蓋台共	1具	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
11	牡丹唐草葵紋蒔絵香道具	1合	江戸時代後期(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
12	牡丹唐草葵紋蒔絵長刀拵(部分)	1点	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
13	牡丹唐草九曜紋蒔絵衣桁	1基	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
14	九曜紋散蒔絵手拭掛	1基	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
	〈越前松平家伝来の婚礼調度〉			
15	鼈甲簪・笄	1式	19～20世紀	福井市春嶽公記念文庫
16	錦守袋	2点	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
17	銀製葵紋付鶴亀松竹梅文様提子・加柄銚子	2合	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
18	菖蒲流水葵紋蒔絵目録箱	1合	江戸時代後期(18～19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
19	桐唐草模様葵紋散色紙箱	1合	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
20	秋草虫蒔絵袖机	1基	明治時代(20世紀)	福井市春嶽公記念文庫
21	守刀付黒出鮫柄合口拵	1具	20世紀(拵)	福井市春嶽公記念文庫
22	唐草葵紋散蒔絵筆筒	1棹	20世紀	当館蔵
	〈大名道具の色々〉			
23	葵紋蒔絵広蓋	1面	大正時代(20世紀)	福井市春嶽公記念文庫
24	葵紋散蒔絵掛硯箱	1基	江戸時代後期(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
25	芙蓉鳥蒔絵提重	1具	江戸時代後期(19世紀)	福井市春嶽公記念文庫
26	葵紋散蒔絵煙草盆	1具	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管
27	葵紋蒔絵火鉢	1具	江戸時代後期(19世紀)	越葵文庫・松平宗紀氏蔵・当館保管

見どころ講座「越前松平家伝来の婚礼調度」

日時 10/3(日)午後2時～
 場所 講堂(2階)
 担当 高瀬裕美(当館学芸員)
 定員 60人 当日受付

【次回の展示】

松平春嶽書の変遷

11/10(水)～12/27(月)
 見どころ講座 11月13日(土)午後2時～
 臨時休館日 11/8(月)・9(火)

展示解説シート No.6 平成16年9月7日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1
 電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
 担当 高瀬 裕美